



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

特集 創立70周年を迎える粟津中学校

挑戦し続ける川辺校長が語る

3月12日、粟津中学校で平成最後の卒業式が行われ、170人余りの生徒が巣立っていきました。生徒の皆さんはどんな3年間を過ごされたのでしょうか。不安を抱えながらも希望と期待に胸を膨らませ、新たな一歩を踏み出したことでしょう。

粟津中は、昭和24年(1949年)名勝「粟津

の晴嵐」で名高い地に誕生。本年度で創立70周年を迎えることになりました。粟津中の歩みを川辺勉校長へのインタビューを通してふりかえります。



校名は「粟津の晴嵐」から

粟津中の校名は、近江八景のひとつ「粟津の晴嵐《晴れた日、風に松並木の枝葉がゆれる



風景》」から名付けられ、校章も松葉(希望、強健、清新)をデザイン。「きらめく湖に窓ひらき」で始まる校歌に愛着を持つ方も多いでしょう。校舎は昭和36年(1961年)に火災により本館と南校舎が全焼し、現在の校舎に。当時の生徒は2,000人を超えており、現在の約4倍の生徒が在籍していました。

川辺さんが新任教師として赴任した1983年は、北大路中学校との分離もあり、生徒数は1,000人弱に。この頃、卒業式では生徒が作詞作曲したものが歌われ、「風がはこんだ季節」などの曲は、全国中学校コンクールで特選となるなど全国的にも有名な学校でした。

希望を胸に教師に しかし学校は荒れていた



深田校長先生を中心に校内暴力問題に取り組んでいた当時の先生方と

「子どもたちの元気な姿を見るのが楽しみ」「校長室で生徒とお弁当を食べるのも楽しみ」という川辺さん。膳所小、粟津中出身で初めて教壇に立ったのが粟津中という、粟津中と深いつながりのある人ですが、新任の数学教師として着任した1980年代は、校内暴力が全国的に問題となっていた頃で、当時の粟津中も例外ではありませんでした。

川辺さんは当時のことをふりかえり、「勉強が苦手な生徒たちとは補習や合宿勉強会をしたり、荒れていた生徒たちとは、一緒に桐生のキャンプ場に行き一晩中語り合った」といいます。また、当時の学校では、建物などが壊されることもありましたが、同僚の数学教師・桂田さんと二人が専属で修理を担当。何度直しても壊されるのですが、「直すのは好きだった」と笑って話されました。

教師が楽しくなければ、 学校は楽しくならない

現在の粟津中に通う生徒の父母にも、かつて川辺さんに習った人は多く、参観日でもよく声をかけられるそうですが、当時の川辺さんをよく知る人によれば、「サングラス・角刈り・無精ひげ」がトレードマークで、どこから見ても「コワイ人」で、生徒指導を担当し、よく生徒を叱っていた印象があるそうです。

しかし、数学教師としての当時の川辺さんは、「関数」のXとYの関係を新聞のテレビ欄を使って教えるなど工夫した授業をするだけでなく、記録的な豪雪の日で自習となった日には、生徒に雪合戦を提案したり、文化祭では女装したりと生徒だけではなく自らも学校生活を楽しんでいました。「教師が楽しくなければ学校が楽しくならない」からだそうです。



文化祭・学級劇での女性教師役



生徒から学ぶ教師に

3年前から粟津中の校長を務める川辺さんは、若い先生方に「教える教師以上に、生徒から学ぶ教師になって」と指導しています。教育の専門家としての知識とともに生徒からもたくさん学んで、成長してほしいと期待する川辺さんですが、新任時代からの信条としているのは「生徒たちによる学校改革」と笑顔で話されます。

校長室には「挑戦」という紙が貼られており、これからもたくさんの方に挑戦し続けたいと語られる言葉は、今も情熱にあふれています。



卒業式にて

70周年に期待を寄せて さらなる飛躍そして挑戦



70周年記念プレ事業

2019年度、川辺さんにとっては教師生活の最後となる定年を迎える年。今秋には70周年記念式典が予定されています。川辺さんは「生徒たちに70年をふりかえってもらい、これからをどう考えてどう生きるか考えるきっかけになれば」と、生徒たちが主体になった事業の開催を考えているそうです。

2月21日に生涯学習センターで開催された創立70周年記念プレ事業では、大ホールが生徒ら約500人で満員に。ここでは粟津中卒業生で、滋賀県出身では初となる江戸落語の落語家・三遊亭わん丈さんが、江戸落語の「牛ほめ」をはじめ、膳所小や粟津中時代の愉快的エピソードや思い出を披露。先生や生徒の落語体験もあり、会場は笑いに包まれていました。

川辺さんは「過去のいろんな人たちの努力で今があり、今をどう生きるかで粟津中の未来が変わっていく。記念事業を通じて、生徒一人ひとりがこれからをどう生きるか考える機会にしてほしい」と話され、生徒の皆さんの将来に期待を寄せました。



